

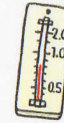
10年長期国債利回りの推移



欧州債務危機の問題や、米国経済の先行き不安に対する懸念などから、6月上旬には一時約9年ぶりに長期金利が0.8%を割り込む場面もみられました

出所：財務省
流通市場における固定利付国債の実勢価格に基づいて算出した半年複利金利（半年複利ベースの最終利回り）

その行方やいかに 長期金利は何で低いの？



そもそも長期金利とは？

最近の日本の長期金利（10年長期国債利回り）は1%を割り込み、過去10年間で最も低水準にあります。この金利水準は他の主要先進国と比較しても、断トツに低い状況といえます。なぜ長期金利は低いのでしょうか？今回は、ニュースでもよく耳にする、この長期金利に着目したいと思います。

長期金利とは、金融機関が1年以上のお金を貸し出す際に適用する金利をさします。世の中には短期金利と長期金利という分け方がありますが、短期金利は日本銀行の金融政策などにより決定される要素が強いに対して、長期金利は物価の変動や経済成長率、債務不履行リスクなどの長期的な予想で変動する傾向があります。この長期金利の代表的な指標となるのが、よくテレビなどで取り上げられる10年長期国債の利回りです。それでは、なぜ最近の長期金利が、低水準で推移しているのでしょうか。

うか。実は日本の国債は、世界経済に減速懸念が生じると資金の逃避先として買われる傾向にあります。欧州債務危機問題は、まだ根本的には解決には至っておらず、欧州経済は厳しい状況が続いています。その結果、他の資産と比較して安全とささやかれる日本国債が買われているのです。

国債が買われると利回りは低下します。でも低い利回りでも買いたい人がたくさんいれば、さらに利回

国債を買うのは誰？

日本は低下することになります。なお、このほかにも長期にわたるデフレ環境下にあることも、利回り低下の大きな要因といえます。物価が下落すれば長期金利も低下する傾向にあるためです。

日本の財政事情を考えると、ギリシャやスペインのように、金利がどこかで跳ね上がるのではと考える



もしも上昇したら...

現状においては、日本の長期金利が急上昇する可能性は低いといえますが、国と地方をあわせた長期債務残高は2012年度末の予算ベースで940兆円と1千兆円目前。財政の行き詰まりを理由とし

現状においては、日本の長期金利が急上昇する可能性は低いとい

えますが、国と地方をあわせた長期債務残高は2012年度末の予算ベースで940兆円と1千兆円目前。財政の行き詰まりを理由とし

伊藤 亮太
(いとう・りょうた)
スキラージャパン 副社長
CFP®, DC アドバイザー
証券外務員資格など

証券会社勤務後、2007年11月に独立系FP会社スキラージャパンを設立。ライフプランニングの提案、保険の見直し、証券取引所などでの資産運用に関する講演など多方面で活躍。東洋大学経営学部非常勤講師

FP伊藤亮太のサイト <http://www.nyota-ito.jp>
スキラージャパン <http://www.skirr-jp.com>